

# 福井いきいき会新聞

2022年6月  
発行：福井い  
いきいき会：福  
井市中央1-9-  
29：0776-28-  
6464  
発行責任者  
吉岡副会長

一生勉強 一生感動 一生青春 (第41号)

## 第一回目の入会 説明会を実施

令和四年五月十五日  
(日)の午後一時から、  
当会の入会説明会を開  
催しました。好天の日  
曜日の午後でしたが、

福井新聞のプリン欄の  
広告をみられた方、会  
員の紹介で来られた方  
など、二十人が参加さ  
れ、当会の会議室で、  
三十分ほど当会の成り  
立ちや、特徴、二十四  
のサークル活動の説明



ゆりの里の薔薇の花

に耳を傾けておられまし  
た。また、当会の運営が主  
として参加時にいただく百円  
と市からの補助金だけで運営  
しているのは本気がか、サー  
クルに初めて参加するとき  
はどうしたらよいのかといっ  
た質問もありました。

受付は、一階の空きスペー  
スをお借りして行い、全サー  
クルのポスターも、そこに表  
示して、説明会までの時間に  
ゆつくり見て頂くことも、  
二十部づつ用意した各ポスター  
のコピーを自由に持ち帰って  
いただきました。

来場者には、当日の説明会  
のプログラム、福井いきいき  
会の概要と二十四のサークル  
活動を紹介した資料、今月と  
来月の行事予定表、最新の新聞  
と、アンケート用紙の一式  
を封筒に詰めて受付時に渡し  
ました。参加者全員が提出さ  
れたアンケートによると、説  
明はよく理解できたこと、い  
くつかのサークルに参加して  
みたいなどと書かれていまし  
たので、後日お電話をして、



入会説明会で、当会の説明を聴かれる参加者の方々

詳しくお話を聞くこともでき  
ました。

当会の会員は、ほとんど好  
きなサークルに参加できてう  
れしいといっておられます。  
しかし、これまでは、積極的  
に当会を知ってもらう活動を  
してきませんでした。今回の  
説明会を機に、今後数か月は、  
月一回の入会説明会を開催す  
る予定にしています。

### 四月の例会講演

黒人侍弥助と信長  
講師 寺岡弘文氏

信長は、最晩年のころイェ  
ズス会の宣教師オルガンティ  
ノが連れてきた黒人奴隷に初



講演中の寺岡弘文氏

めて出会った。年齢は二十六  
歳、全身が真っ黒で身長は六  
尺二分、十人人がかりにも勝  
てそうな力強さだった。彼は  
少し日本語が分かったので、  
信長は彼と話して飽きること  
がなかった。また芸も少しで  
きたので、信長は多いに喜ん  
で庇護し、人を付けて京都市  
中を歩き回らせたので、『信  
長は彼をトノ(武将)とする  
のでは』という声もあった  
との記録もあるそうです。

一か月後、「本能寺の変」  
が起こった。弥助は奮戦し、  
信長が死んだ後も、息子の  
織田信忠が籠もる二条城に  
駆けつけたが、最終的には、  
明智光秀に降伏したという。  
明智は、「黒人奴隷は動物  
でも知らず、また日本人  
でないため殺さずに、イン  
ドの聖堂に置く」と言ったこ  
のことであるが、これは黒人  
差別ではなく、弥助を殺さな  
いための方便だったのではと  
推測されている。明智が、皮  
膚の色こそ異なるものの、若  
干言葉解し、最後まで主人  
への忠誠を果たした従者を殺  
すのは忍びないと光秀が思っ  
たとしても不思議ではない。  
弥助は解放直後、イエズス会  
の宣教師から治療を受けたら  
しいが、その後の消息はわか  
らないそうです。

### 五月の例会

芸能倶楽部の公演  
「若返りの水」

五月の例会は、当会の芸  
能倶楽部の劇団「幸齢者」の  
「若返りの水」(脚本 林幸  
男团长)の公演でした。少子  
高齢化が進んだ現代において、  
高齢者は若返り、若い人は子



芸能倶楽部 演劇「若返りの水」の一場面

供をたくさん生まなくてはならないとして、まずは高齢者がかもつと若返ろう。そのため、三三七拍子で、アツハツハ、オツホツホ、アツハツハオツホツホを二回繰り返していうと十年は若返ると言って、林団長が音頭を取り、参加者に発声を促した。

演劇では、老夫婦が、若返りや子どもさんの話をしたあと、爺さんが山へ草刈りに出かけた。しかし、いつまでたっても戻ってこないで心配していたところへ、曲がっていた腰もピンと伸び、髪もふさふさとなった爺さんが戻ってきた。

みんなはびつくりして訳を聞くと、草刈りで汗をかいた

**秘かにあなたの友を諫め 公にこれを褒めよ** 濱田 芳雄

この言葉は、友情と言うものを非常に重視し、その友のあり方と言うものを適切に言い表しております。

友達に悪いところがあつたら、こつそりと物陰で諄々と改めるように説得

**会員のエッセイ**

ので、大舅さんと二人で行つた大邪良の谷間に湧き出る水を飲んだら元気になって草刈がはかどつたという。婆さんはそれを聞いて私も若返りたといと、そのわき水を飲みに行つた。しかし夜になつても戻つてこないで、村人に探して行つてもらつと、そこには赤ちゃんに戻つた婆さんがいた。連れて帰つて訳を聞くと、爺さんのように若くなりたいと思ひ、たくさんその水を飲んだら赤ちゃんになつてしまつた、という演劇でした。

なお、この演劇に先立つて、オカリナの演奏、象の三兄弟という創作紙芝居、尺八の演奏等があり、参加者は十分楽しんでいました。

をし、注意をして諫めることが本当の友なのだと言わけてです。

そして反対に褒めるべきところがあつたら、みんなの前で「こういうことがあつた。あの人は素晴らしい人だ」と心から褒め讃えれば、その人は非常に嬉しい気持ちになると言つてくれます。

さらに良いことをした場合には、できるだけみんなの前で褒めるなり、あるいは人伝えに本人に伝わるように、非常に素晴らしい人だ、良いことをやってくれた、私は本当に感謝していると言います。するといわゆる増幅作用と言つものがあつまして、伝わっている間にそれがどんどんクローズアップされていって、最初はちょっと褒められたはずなのに本人の耳に入る頃

には、もうベタほめになつていると言つような面白い現象が人間社会の中にはあります。

これを人間関係の秘訣の一つだと言っている人がいますが、特に人の中でも最も親しく心の支えになってくれる良い友達をできるだけ増やし、できるだけ強い友情関係を保ちたいと思えば、この教訓を守るのが一番よろしいかと思ひます。

よく、うちの会は「コミュニケーションが悪いと耳にしますが、コミュニケーションとは噂話のことです。噂は口へんに尊いと書くだけであつて、とても価値の高い情報と言つわけです。それこそあつという間に伝わります。

それも悪い噂、不安、怖れといった情報ほど速いスピードで広がっていきます。それが社会的になると悪質なデマになる恐れがあります。会でも同じことです。

噂話の嫌いな人はいないので、耳寄りの話となるので、聞き立てる人はたくさんいます。良い噂のことを評判といいます。評判が良くなる则会への参加者も自

然と増えるのではないでしようか、評判は大切にしながらはなりません、会の良い噂を流していきたいましよう。

**愛する子や 孫たちに寄せる** 吉田一郎

「落書きの教科書と外ばかり見てる俺 超高層ビルの上の空 届かない夢を見てる やり場のない気持ちの扉破りたい」

「校舎の裏煙草(タバコ)をふかして見つければ逃げ場もない しゃがんでかたまり 背を向けながら 心の一つも解りあえない大人たちをにらむ」

「とにかくもう学校や家には帰りたくない 自分存在が何なのかさえわからず震えている 十五の夜」

(作詞、作曲尾崎豊『十五の夜』一九九一)

抑えようとしても抑えきれない自由への衝動、その自由を阻む大人たちへ向ける罪のない敵意、闇夜を手探りで歩くような不安で孤独な感覚……。思春期の子どもの心理は大人には分かりにくいものです。複雑に屈折し、



生きてりやいいさ (河島英五のレコード)

矛盾している思春期の子どもの心の内を、尾崎豊は見事に描いて見せました。

「君が悲しみに心を閉ざしたとき 思い出してほしい歌がある 人を信じれず眠れない夜にもきつと忘れないでほしい」

「生きてりやいいさ 生きてりやいいさ 生きてりやいいさ 生きてりやいいさ 喜びも悲しみも立ち止まりはしない めぐりめぐっていくのさ」

「手のひらを合わせよう ほらぬくもりが 君の胸にとどくだろう」

(作詞、作曲 河島英五 『生きてりやいいさ』)

九九九

人間不信に陥った若者に、生きていればなんとかなる、あなたを見つめ手をつないでくれる人がきつといると、河島英五は語りかけました。

「目を閉じて何も見えず 哀しくて目を開ければ 荒野に向かう道より 他に見えるものはなし」

「息をすれば胸の中 困(こがらし)は鳴き続ける されどわが胸は熱く 夢を追い続けるなり」

「我は行く蒼白き頬のままで 我也行く さらに 昂よ」

(作詞、作曲谷村新司 『昂』一九八〇)

「昂」は冬空に五十七個の星が群れて見えるプレアデス星団のことです。谷村の「昂」は、群れから離れて一人旅立つ青年の姿を彷彿とさせます。

「お前が生まれた時 父さん母さんたちは どのなに喜んでことだろう 私たちだけを頼りにしている 寝顔のいじらしさ 一晩中母さんはミルクを温めたものさ 昼間は父さんがあきもせずあ

やしてた

「お前は大きくなり 自由がほしいと言う 私たちは戸惑うばかり 日に日に気むすかしく 変わってゆく お前は話を聞いてもくれない 親の心配見向きもせず お前は出てゆく あの時のお前を止めることは 誰にもできなかつた」

(作詞、作曲FREDDIE AGUILAR 一九七九)

フィリピン人のフレディ・アギラールの曲です。日本では「息子」というタイトルで発売されました。生まれてきた子を無条件に愛した日々、だんだん気むすかしくなっていく子、親に背き旅立って成長するにつれて変わっていくわが子に戸惑う親の姿が歌われています。

改めて自分の人生を振り返ると、尾崎豊も河島英五も谷村新司もフレディ・アギラールも、みな自分の中にいたと感じます。

大人が敵に見えた日、人が信じられなくなった日、先の見えない不安の中で自分を信じて突き進

んだ日、そしてわが子の姿に悩んだ日、それらの日々は確かに私にもありました。

今ではそれらのすべてがかけがえのない日々であったと思えます。すべてが愛おしく思えます。

**五月の川柳同好会の作品**

未熟さを卒寿で  
気付くあかんたれ 千田 節子

いやな夢  
夢であれよと夢の中 大野 勉

ほほ叩き今日の  
自分を整える 増永 一夫

心萎え運動器具に  
ちりたまる 吉田美恵子

ひ孫連れ良き  
ママになり里帰り 小林 久子

今置いた確かに  
置いた何故無いの 新田ヨシエ

安かったのあたらしい  
服にきめゼリフ 田中 秀男

脳ふしぎ顔は出るのに  
名が出ない 南部 歳子

近頃は 何するもイヤ  
面倒だ 上坂 征夫

いぎ泳げ浮かれて愉快  
こいのぼり 澤村 玲子

罪のない嘘も  
時には潤滑油 林 進

自粛なか活動  
つづく飲びよ 斎藤栄三郎

せっかくの除草に  
気づかず叱られる 吉岡 芳夫

母供養 子供食堂  
米寄贈 定池 徳誠

財布見てやはり  
止めとこ大ト口は 小坂 武士

いきいき会参加し  
世間に遅れ無し 松島 成美



令和4年6月の行事予定表

日付	曜日	活動場所	開始時間	行事名	
1	水	B	13:00	経済指標を考える会	
2	木	B	13:00	囲碁将棋	
3	金	Aマ	B	13:00	よろず討論会
4	土	Aマ	B	13:00	卓話を聴く会
5	日	Aマ			
6	月	B	13:00	合唱サークル	
7	火	B	13:00	映画鑑賞会	
8	水	ハピリン4F	13:30	芸能クラブ	
		B	13:00	囲碁将棋	
9	木	B	13:00	易しい科学の話	
		市体育館	13:00	ピンポンの会	
10	金	Aマ	B	13:30	芸能クラブ
11	土	Aマ			
12	日	Aマ	B	13:00	夜明けの会
13	月	B	13:00	新聞記事を読む会	
14	火	B	13:00	運営委員会	
15	水	アオッサ6階レクA	13:30	うたのサロン	
		市体育館	13:00	ピンポンの会	
16	木	B	13:00	囲碁将棋	
17	金	Aマ	B	13:00	歴史を楽しむ会
18	土	Aマ	B	10:00	私の健康法
		B	13:00	川柳同好会	
19	日	Aマ			
20	月	B	13:00	短歌の会	
		市体育館	13:00	ピンポンの会	
21	火	B	10:00	楽しい暮らし方	
		B	13:00	映画鑑賞会	
22	水	ハピリン4F	13:30	芸能クラブ	
		B	13:00	ネットで世界旅行	
23	木	B	13:00	囲碁将棋	
		市体育館	13:00	ピンポンの会	
24	金	Aマ	コートダジュール	13:00	カラオケうた会
25	土	Aマ			
26	日	Aマ			
27	月	別会場	13:00	手作りの会	
		B	13:00	スマホ勉強会	
28	火	B	13:00	音楽鑑賞会	
29	水				
30	木	アオッサ706, 707	13:00	例会	

Aマは3階A室での健康麻雀で13:00開始、

令和四年

六月の行事予定

例会講演

「福井県や日本の地震について」

講師：福井高専 岡本拓夫先生

福井平野西縁部の新たな断層の発見と実際の地震の発生や、鯖江断層の存在、福井地震はまた起こるのか、地震の測定法、日本で予想される大地震など、興味あるお話を聴くことができます。

よろず討論会

県立看護専門学校で先生さん達が、地域実習の

ため、よろず討論会に参加されます。「地域生活する人々が集まる場へ出向き、実際に接することで様々な対象における日常の暮らしを学ぶ」ことが目的のこのことです



映画「ひまわり」の一場面

六月七日(火)は、ウクライナ侵攻で再注目のイタリヤ映画「ひまわり」を上映する予定です。戦争によって離れ離れになつてしまふ夫婦の姿を見つめたラブロマンスです。二十一日は邦画鑑賞でいくつかの候補から参加者の希望多い映画を上映します。

易しい科学の話

医療、宇宙などの興味ある記事を多数紹介します。「朝食を抜くと体重が増えるのに筋肉量は減少」。米太陽探査機、金星表面の可視光撮影に成功」など (講師は吉岡副会長)

歴史を楽しむ会

「富を制する者が天下を制す」

講師：井上清一

戦国時代の話をすると、必ず武将の武勇伝が中心になります。歴史は武将の「武」の方面からしか語られてきませんでした。しかし、天下を制した、信長、秀吉、家康は経済を非常に重視してました。お米の収穫だけでは、鉄砲も買えません。季節に関係なく兵を動かすのには、大量のお金が必要でした。経済から見た戦国武将についてお話しさせていただきます。

インターネット世界旅行

ウクライナ

ロシアの侵攻で破壊された街は、どんなところだったのか、日常を取り戻したキーウなども見に行きましょう。(案内は吉岡副会長)



ウクライナの都市マリウポリ